

表紙写真：「じいちゃんばあちゃん、赤ちゃん産まれたよ！」

特集 2025年由布市子ども未来議会 由布高校生×由布市議会

Contents

| | | | |
|--------------------------|-----|------------------------|------|
| 【特集】由布市子ども未来議会を開催しました …… | 1～2 | 常任委員会報告 …… | 5～6 |
| ●令和7年第2回定例会 | | 意見書を提出しました …… | 7 |
| 概要 …… | 3 | ●市政を問う(一般質問) …… | 7～10 |
| 議長不信任案について …… | 3 | ●表紙写真の募集 …… | 10 |
| 議案質疑 …… | 4 | ●請願・陳情結果、賛否一覧、編集後記等 …… | 裏表紙 |

特集

第2弾 2025年由布市子ども未来議会

由布高校生 × 由布市議会



議員さんの顔
見るの初めて



緊張する…

由布高校生

由布市議会



小原喜花議長



最後は全員で写真撮影



令和7年度子ども未来議会
由布市議会 × 由布高校生

レポート

由布市議会では、由布市の未来を担う子どもたちが身近な市政や市議会についての仕組みや役割を学び、由布市の将来についての考えを議会という場で提案することにより、市政や議会活動、まちづくりに関心を持ってもらうことを目的として、令和6年から子ども未来議会を行っています。

2年目となる今年は、7月8日市内唯一の高校の由布高校から14名が参加し、議長のあいさつの後に委員会室で意見交換会を行い、最後に市役所本会議場で話し合ったことを発表しました。

当日のプログラム

- ① 開会式(委嘱状交付)
- ② 意見交換会(委員会形式)
- ③ 子ども未来議会開会
- ④ 委員会発表(3委員会)
- ⑤ 子ども未来議会閉会
- ⑥ 集合写真・散会

由布高校生 × 由布市議会

意見交換会（委員会形式）では、各委員会で活発な意見交換が行われ、高校生の目線での貴重な意見を聞くことができました。

総務委員会

大塚圭太議員・花岡晴香議員・平野里緒議員・岡崎楓議員



テーマ 庄内をにぎやかに

由布高校がある庄内地域の過疎化や現状に触れ、過疎脱却に向けてにぎやか・人気になるアイデア、あったらいいな小野屋商店街での居場所づくり、利便性のいいところの農地は可能であればぜひ商業地になどのご提言をいただきました。

教育民生委員会

佐藤懿好議員・三上紗英議員・小野葵議員・小原喜花議員・竹尾彩楽議員

テーマ 由布市の出生率を上げよう

全国的にも問題になっている少子化の問題を取り上げ、由布市の出生率を上げるために由布市の現状の政策に触れ、他の自治体で取り組んでいる子育て用品の支給政策や無料託児所、一時預かり託児所政策など、解決策へのご提言をいただきました。



産業建設委員会

後藤奏永議員・麻生翔也議員・北林美凰議員・廣田逞真議員・佐藤千華議員



テーマ ゴミ問題を解決しよう

湯布院湯の坪街道のごみ問題をテーマに取り上げ、インバウンドで切実な問題の構造分析や因果関係を考え、木のボウルをテイクアウトの容器として販売し、買った人の代金を引き、思い出の品として持ち帰ってもらうといいとのご提言をいただきました。

高校生からの感想(アンケートより)

- ・なかなか町が変わらないことを不満に思っていたが、今回のことで議会の大変さを知れました。
- ・議会の方と直接話すことがなかったので、知ることができなかったことを知れてよい機会になりました。
- ・知らなかった政策などを知れて良かった。「なるほど」をたくさん感じられた。
- ・とても楽しかった。いろいろな企画が知れた。何度もするべき。
- ・一つの案から様々な意見が生まれ、発展していくのを感じて議会の凄さがよく伝わりました。



実行委員長より(佐藤孝昭副議長)

3委員会とも高校生ならではの若い鋭い着眼点で由布市や日本全体の問題の現状・状況をしっかりとらえ、調査や資料をもとに分析し、ご提言して下さった事がよくわかる内容でした。私たち議員も皆様から新たな視点とふるさとへの思い、そして若いエネルギーを吸収し、心新たに由布市の魅力と課題を見つめ直したいと思います。最後にこども未来議会は主権者教育と若者の視点を行政に生かすことを目的に由布高校の皆様にご理解をいただき開催することができました。これからも由布市の学校に通う若者の柔軟な発想力や、アイデアを議会活動で生かせるよう、若者がふるさとに魅力と誇りシビックプライドを持てるようなまちづくりを目指して、20周年そしてこれからの新時代を切り開いていきたいと思ひます。ともに輝かしい由布市を作ってまいりましょう。



令和7年第2回定例会概要

令和7年第2回定例会は6月12日に開会し6月27日までの16日間開催され、提案された報告15件、承認4件、議案10件、請願3件、陳情1件、発議4件を審議しました。そのうち請願2件を採択、1件を趣旨採択、陳情1件を継続とし議案等は原案どおり承認・可決しました。

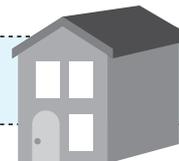
★専決処分の主なもの

入湯税の超過課税分の基金積立 105万4千円 ※入湯税実績による補正



★議案の主なもの

議案第68号 由布市定住促進宅地の無償譲渡に関する条例の制定
※庄内地区に定住人口の増加を図るため、市が造成した宅地12区画



★補正予算の主なもの

- ・若者定住住宅推進事業（造成工事） 2億8千992万7千円
- ・農業施設災害復旧事業（令和6年災害分） 10億8千989万8千円
- ・物価高騰緊急対応事業（ゴミ袋無料配布） 1千220万9千円



本会議でこのようなことが決まりました。

◎9月議会での「決算特別委員会」を設置 委員長 佐藤孝昭 副委員長 太田洋一郎

甲斐裕一議長の不信任案が提出される

議長不信任案決議

6月16日（月曜日 議会第2日）に議長不信任案決議を高田龍也議員が提出者となり審議される（賛同者4名）。甲斐議長から申し出があり一身上の弁明を行ったのち、3名の議員が賛成・反対の討論を行った。

動議の主旨 議長は、独断専行で特定の団体との協議を進め、由布市議会開会中にもかかわらず、勉強会と称し、議会全員に参集を催告した。これは、憲法15条にある「すべて公務員は、全体の奉仕者であって、一部の奉仕者ではない。」に著しく違反している。また、私に電話で特定の団体からの封書について賛否の回答をするようにと迫った。これは、由布市議会基本条例、第8章政治倫理、議員の政治倫理に違反している。

一身上の弁明 甲斐裕一議長

今後は、議会法令、由布市議会基本条例に基づき、自らの言動には注意し、全神経を注ぎ、議長職を務めてまいりたいと思いますので、そのためには、議員一人一人との対話を十分に図り、議会の運営を円滑に進めてまいりたいと考えております。

討論

賛成 坂本光広議員

全員協議会の中で、議長が団体に出向き、特定の業者と話をしたように言われた。このような発言が軽率である。

反対 淵野けさ子議員

この問題は、全協で議長一任という形で終わったと思います。また、議員それぞれが個々に対処と言われた。任期もあと4か月ということでもあり、重々に注意し、議員全員の意見を酌み取るよう努力してもらいたい。

賛成 加藤幸雄議員

中立性、公平性と、難題はあると思いますが、やはり議運の委員長や副議長と相談しながら議員に教えていただければ、このような事態にはならなかったと思います。

採決の結果

賛成5、反対10で否決となりました。

議案質疑

◎由布市定住促進宅地の無償譲渡について移住者（由布市外）が対象ですが、残った場合由布市民も対象になるとのことですが、変更していく時期は。また、細則が必要では。

▲事業の進捗状況より由布市民も対象としていく時期、募集の状況を加味しながら判断していきたいと考えている。また、条例に規定できなかった事項については、規則や、募集要項等を通じて対応することになっている。

◎議会の議決に付すべき契約につき軽易な変更に限る、議決不要にしたいとなっていますが議会に対しての報告等は、必要ではないか。

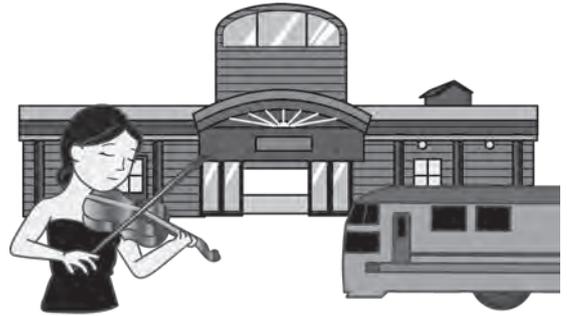
▲10分の1以内は議決を要しないということをお願いをしたい。その場合は、各議会開催時に、5,000万円以上の契約と同じように、行政報告の中で報告をさせていただく。

◎物価高騰緊急対応事業でゴミ袋配布はどのようにするのか。

▲8月中にハガキにて約1万6,000世帯に配り1世帯に1セット（30枚）配布を行う。
引き換え開始は9月1日の予定で、今回は大・小・特小それぞれ選べるようにしている。

◎由布院駅100周年記念事業について事業内容は。

▲100人による1日駅長としてゆふいんの森2号の出発式、由布院神楽保存会による講演、かんぱち・いちろく号試乗会、バイオリン演奏会、そして基調講演等を予定している。



◎農業用施設災害復旧事業について、申請が遅れてる方がいる場合はどうなるのか。

▲災害申請については、発災から国への確定報告が、3週間以内となっている。
報告した分しか、国の災害事業の対象にはならず、以降については、国の災害事業の対象外となる。また、極力そういうことがないように皆さんに市に報告していただくよう周知していく。



※由布市定住促進宅地造成イメージ図

総務常任委員会

由布市税条例の一部が変わりました

改正の主な内容は、軽自動車税（種別割）において新たに「新基準原付」の区分を設け、年額を2千円とするものです。

また、新築から20年以上経過したマンションで、長寿命化のための大規模改修工事を実施したものについて、市が要件に該当すると認められた場合には、当該マンションの区分所有者からの減税措置が適用されることになりました。

さらに、令和2年7月豪雨による被災者支援として講じられている課税の特例措置について、その適用期間を2年延長されます。

これらの改正はいずれも法改正に伴うものです。

くすのき児童クラブ新築へ

新築工事に係る建設工事請負契約を本契約にするために議会の議決を求めるものです。

令和7年5月19日に要件設定型一般競争入札が執行され、佐々木建設株式会社が2億462万6,400円（消費税含む）で落札し、5月22日に仮契約が締結されました。

委員会からは、工期内に工事を完了させることはもとより、工事期間中の子供たちの安全確保に努めること、また、施行に際し瑕疵が発生しないよう厳格な施工管理を徹底するよう意見を付しました。



人口減少にブレーキ

市有地の旧寿楽苑跡地を有効活用し、特に庄内地域における人口減少の抑制と活性化を図ることを目的に、若者世帯等の定住促進を目的とする宅地の無償譲渡に関する制度を整備し、その手続き等の必要な事項を定めた条例を制定するものです。

委員会では、無償譲渡に関し、公平性の確保や既存市民との関係性、居住義務の履行に対する懸念が示されました。

また、犯罪防止や地域の安全・安心な環境づくりにも十分に配慮し、条例制定後も要綱等でより詳細な運用ルールを定める必要があるとの意見が出ました。

加えて、地域経済の活性化につながるような取り組みの検討を求める声や、取得された宅地が本来の目的に沿って活用されているか継続的に確認するためのチェック体制を構築するようとの意見も出ました。



令和7年度由布市一般会計補正予算（第1号）

歳入歳出予算にそれぞれ15億3,548万6千円を追加し、総額を261億3,932万円とするものです。

「若者定住住宅推進事業」2億8,992万7千円については、旧寿楽苑跡地を宅地に整備するための工事請負費と分筆登記等に係る費用です。

次に、「定額減税補足額給付事業」7,729万7千円については、令和6年度に実施された定額減税において、調整給付を上回る不足分が生じた世帯に追加給付を行うものです。

委員会では、「若者定住住宅推進事業」について、費用を要する事業であることから、細心の注意を払い着実に推進するとともに、今後予定される第2、第3の事業計画も進めるよう意見が出されました。

教育民生常任委員会

専決処分の承認を求めることについて

「由布市国民健康保険税条例の一部を改正する条例」地方税法施行令の改正が行われたことによるもので、賦課限度額と被保険者均等割額及び世帯別平等割額を軽減する所得判定基準が見直され、緊急を要したことから、承認を求めるものです。



令和7年度由布市一般会計補正予算(第1号)

歳入の主なものとして、教育費県補助金のうち、学校・家庭・地域による「学びの未来」創造事業費補助金97万6千円の減額は、市の当初予算額と、県からの内示額の差額を調整するものです。

歳出の主なものとして、公民館連携事業195万3千円の増額は、はさま未来館の自家用発電設備に不具合が生じたため、修繕を要することによるものです。

産業建設常任委員会

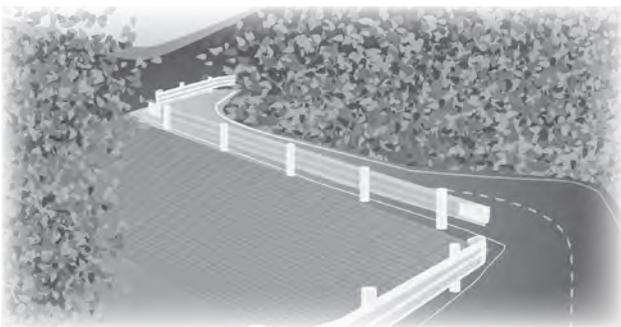
市道路線（第2ゆふ浄苑線）の認定について

市所有（湯布院町川西）の公衆用道路を市道として管理するものです。

令和7年度由布市一般会計補正予算（第1号）

歳入の主なものとして、耕地災害復旧事業789万9千円の減額は、負担率が当初想定より下がったため。農業用施設災害復旧事業は、一部の工事費増額と、補助率が增高申請により当初想定より上がったためです。

歳出の主なものとして、道路整備事業（過疎対策事業）7,870万円の増額は仁瀬小袋線道路改良工事費。公共土木施設災害復旧事業946万円の増額は、竜王平芝尾線の水道管仮設工事費です。



令和7年度由布市水道事業会計補正予算(第1号)

| | 補正額 | 総額 |
|-------|---------|-------------|
| 収益的収入 | 30万円 | 8億8,151万4千円 |
| 収益的支出 | 187万3千円 | 8億5,998万7千円 |
| 資本的収入 | 2,750万円 | 6億 893万3千円 |
| 資本的支出 | 2,778万円 | 9億1,539万5千円 |

収益的支出の旅費は、滞納整理の対象件数が増えたため、県外裁判所出頭に関する費用の増額です。

委員会からは、滞納整理の専門的な人員を増やしたかどうかとの意見ができました。



令和7年度由布市一般会計補正予算(第2号)

歳出における、物価高騰緊急対応事業1,220万9千円の増額は、1世帯当たり1セット（30枚）のゴミ袋を配布し、家計を支援するものです。

委員会からは、引換券郵送の際に配布場所の周知を確実にを行うようにとの意見ができました。

農業生産に係る消費税及び食料品消費税撤廃を求める意見書

令和7年6月27日定例会。発議第3号「農業生産に係る消費税及び食料品消費税撤廃を求める意見書」を佐藤人己議員が上程し、委員会付託を省略して全員審議へ。

質疑

Q 瀧野けさ子議員は、軽減税率（8%）との関係、建設・製造業など他産業も重い負担を抱える中で農業限定とする妥当性を質問。

A 佐藤人己議員は、深掘り議論までは至らずと答弁。

A 高田龍也議員が、食料は生存必需品。生産・販売両段階の消費税を外せば物価を抑え、農家と消費者双方を守れると補足。

Q 田中真理子議員は、税率を8%から5%や3%へ段階的に下げる案の有無、米以外の食料品の扱いを質す。

A 高田龍也議員は、国内農業者支援を最優先に設計した。全品目撤廃を求めるが、象徴的に米を明示したと説明。

討論

反対：瀧野けさ子議員は、農業支援は賛同するが、税制だけでなく人材不足対策や所得補償など総合策が不可欠。消費税の拙速な撤廃は慎むべきと主張。

賛成：高田龍也議員は、物価高と高齢化で農業は待ったなし。まず税を取らず資金繰りを楽にし、若者就農の誘因にもなる。地方から減税を訴える意義は大きいと強調。

採決の結果

賛成12反対5で可決。

意見書は衆参議長ほか政府関係閣僚へ送付した。



ここが聞きたい！

一般質問

市政を問う

- 加藤 幸雄 議員 「自然災害の避難場所は確保されていますか」 他
- 佐藤 人己 議員 「台風10号により被害に遭った農家の対応」 他
- 坂本 光広 議員 「災害協定・連携協定について」 他
- 加藤 裕三 議員 「湯布院観光(トイレ及びホテル等建設対策)について」 他
- 田中 真理子 議員 「今後の地方創生の充実に向けどのように検討していくのか」 他
- 志賀 輝和 議員 「子ども子育て支援策について」 他
- 平松 恵美男 議員 「由布市の水道事業の今後について」 他
- 佐藤 孝昭 議員 「由布市のスポーツ振興と施設について」 他
- 瀧野 けさ子 議員 「挾間中学校体育館の大規模改修について」 他
- 佐藤 郁夫 議員 「庄内地域の幼稚園、小中学校の規模及び配置の適正化の進捗状況は」 他
- 高田 龍也 議員 「市が貸与する土地は地価変動時に契約変更できるのか」 他
- 太田 洋一郎 議員 「宿泊税導入に向けた準備はどこまで進んでいる」 他



「自然災害の避難場所は確保されていますか」
他

加藤 幸雄 議員

Q 自然災害の避難場所は確保されていますか。

A 73か所の避難所があり、災害の状況に応じて開設しています。自助、共助、公助の連携が安心・安全に繋がります。観光客に対しては、湯布院地域の観光協会、旅館組合に避難所への誘導をお願いしています。

Q 大規模災害時の給水はどうなっていますか。

A 規模によりますが、地域に給水車等の手配を行っています。

Q 企業に熱中症対策が義務付けられました。由布市の対応は。

A 水分補給等が出来る箇所が市内21か所にあります。今後も各事業所に協力依頼を行い増やしていきたいと思っています。

Q JR駅から市役所までのシャトルバスを運行しませんか。

A 10月から、庄内駅・小野屋駅から市役所や病院等を循環する周遊バスの試験的な導入を予定しています。

Q 今、建設ラッシュになっていますが、何らかの関係で、廃墟になった時の対応は。

A 潤いのある町づくり条例に沿って、地域に合った大きさ、形で建てていると思います。事業を長く続けて欲しいと指導しています。



「台風10号により被害に遭った農家の対応」 他

佐藤 人已 議員

- Q** 台風10号により被害に遭った農家の対応は。
- A** 台風10号については、由布市全体で647件、国から災害査定を受けております。現在、農道や水路を中心に発注を進めております。令和7年8月以降の契約に向けて準備を進めています。申請者の負担については工事費に農地であれば2.2%、施設であれば0.3%を乗じた額となります。今後も状況報告、補助率と負担率等々のお知らせをしていきます。
- Q** 市道路線の要望に対しての処理は。
- A** 要望は134件あります。計画的な対応を検討中であります。
- Q** 東部簡易水道について。
- A** 柚ノ木地区導水管管理道路舗装工事の状況について令和7年1月30日に竣工し、終了しています。令和7年分も工事をしてまいります。
- Q** イノシシ対策の金網について。
- A** 1.2メートルの柵を100メートル単位で三分の二の補助があります。



「災害協定・連携協定について」 他

坂本 光広 議員

- Q** 災害協定や連携協定等、団体や企業と何件の協定を結んでおりますか。
- A** 災害協定は、38の企業、団体と協定を締結しております。連携協定は、17社と協定を締結しています。
- Q** 協定を結んだ団体や企業と定期的な話し合い等は行われているでしょうか。
- A** 全ての企業、団体と定期的な話し合いを行っているわけではございません。協定内容の見直し、また必要が生じた場合に、不定期になりますけれども協議を行っているところです。
- Q** 災害の時はどのように連絡をされていますか。
- A** 建設関係で災害協定を結んでいる団体は3団体、47社あります。災害が起きたと覚知した後、職員が実際何がどう起きているか確認し、その上で、災害協定を結んでいる団体等の支部長さん、または地域に近い事業者さんに連絡をさせていただいて、対応ができるかどうかという返事を先にいただき、対応ができれば、また違うところを探しています。



「湯布院観光(トイレ及びホテル等建設対策)について」 他

加藤 裕三 議員

- Q** 湯布院観光(トイレ及びホテル等建設対策)について。
- A** 既存の公衆トイレでは大型連休など行列ができるなど、現状に対応が出来ていない。今後は、「環境、観光振興基金」を公衆トイレ整備にあてる検討を始めている。また、トイレマナーの向上に向けた啓発等にも取り組む。また、ホテル開発は条例、観光基本計画等の基準により、部屋数等の総量の調整が行われている。
- Q** 学校施設的环境整備(エアコン、LED照明)について。
- A** 本年度、挾間中学校の体育館大規模改修でエアコン設置工事を行う。夏場の熱中症対策また、災害時の避難所の観点から必要性は認識している。今後は文部科学省交付金を活用し整備していきたい。水銀灯は製造中止になることからLED化を優先的に進めていきたい。

※その他「安全・安心な地域づくりについて」



「今後の地方創生の充実に向けどのように検討していくのか」 他

田中 真理子 議員

- Q** 今後の地方創生の充実に向けどのように検討していくのか。
- A** これまで成果があった地方創生の取り組みを継承しつつ、地域コミュニティを維持するための拠点づくり、防災力の強化、AI、デジタルなどの新技術の活用、広域連携による生活関連サービスの向上など、新しい地方経済、生活環境創生交付金など活用し、進めていきたい。
- Q** 持続可能な農業の取り組み、地域計画の今後について。
- A** 新規就農者の確保を重点に取り組んでいる。ファーマースクール、スタートアップ圃場、いちごやネギを主に5年間で36人、水稲1人、梨の担い手確保に5年間で4組、市独自の産地づくりに唐辛子、ハトムギの助成を行っている。地域計画を活用し、担い手への農地の集約等の取組みを進め持続可能な農業、農村の支援に努めていく。

※この他、多様化する教育現場、生きる力をはぐくむ学校教育の推進について



「子ども子育て支援策について」他

志賀 輝和 議員

- Q** ひとり親世帯への経済的支援並びに精神的支援策を問う。
- A** 経済的支援は児童扶養手当、医療費助成、高等職業訓練促進給付金、自立支援教育訓練給付金等の支給をしている。精神的支援は子育て支援課に母子父子自立支援員を配置し生活一般や、子育てに関する不安や悩み等に寄り添う支援をしている。
- Q** 発達障害者支援について伺う。早期発見のための対策は。
- A** 1歳6ヶ月検診、3歳児検診、6ヶ月検診を行い早期発見に努めている。
- Q** 保護者に対する支援策は。
- A** 療育施設への紹介、親子教室・子育て相談会を通して、保護者及び関係機関が共通認識をもって就学につなげるようにしている。
- Q** 教育委員会の保護者支援策は。
- A** 特別支援員兼就学指導員が保護者との面談で、小学校に入学する前に出来そうな支援の紹介、療育機関の紹介等保護者の不安を払拭する取り組みを行っている。

※他に、子ども誰でも通園制度、子ども第3の居場所運営について質問をしました。



「由布市の水道事業の今後について」他

平松 恵美男 議員

- Q** 令和5年度に水道料金を改定したが最近の物価高や経済状況を鑑みて当初の計画どおりに健全経営が見込めるか。
- A** 令和6年1月1日から料金改定を行い令和9年度末まで激変緩和措置を設定、新水道料金体系に完全移行するのは令和10年4月分からとなる、試算では完全移行後に約1億円の料金収入の増収を見込んでいたが資材の高騰など諸物価の上昇が著しく厳しい経営状況が予想される、健全な経営を維持するために水需要や今後の経済動向を注視している。
- Q** 狭間町下市地区排水路整備測量設計事業の進捗状況と今後について。
- A** 今月の入札に付し計画排水路周辺の現状調査や概算工事費等が算出されその成果資料を基に今後の事業実施について検討を行う。
- Q** 狭間・由布川地域の宅地開発に伴い雨水が最終的に初瀬井路に集中することが多い、今後の対策は。
- A** 水路が交わる箇所改良や水路の拡幅改良が考えられる、関係課が連携し土地改良区等と協力して対応する計画。



「由布市のスポーツ振興と施設について」他

佐藤 孝昭 議員

- Q** 市が所有する体育館施設に熱中症予防対策も含めエアコン・空調設備、トイレの洋式化、身障者用に整備する必要があるが計画はしているか。
- A** 必要性は感じているが、公共施設総合管理計画に基づき検討をしている。
- Q** スポーツ大会や健康促進行事を司る団体の長としても、熱中症対策のできてない施設での運営は怖い。体育館エアコンが無理ならクーラースポットを作るなどの対応・対策を願います。
- A** 選手達が一旦クールダウンできる場所は必要と感じるので調査研究します。
- Q** 市のスポーツ施設の利用運営状況、利用者からの評判や評価等を協議する「利用振興会議」をして必要性や現状把握・今後の方針を決めた方がいいのでは。
- A** スポーツ推進審議会が存在するが、開催できてないので、そこで協議していきたい。

ほかに「庄内地域の過疎地域持続的発展計画は」「まちづくり協議会の今後の展望について」「自治委員連合会の要望対応について」等質問しました。



「狭間中学校体育館の大規模改修について」他

湊野 けさ子 議員

- Q** 南海トラフ巨大地震に備えて九州内119人の市長で構成される九州市長会で各自治体の課題が共有されたと思うが、由布市の課題と具体的な内容は。県内の市長会との連携は。
- A** 具体的には九州市長会の中にONE KYUSHUプロジェクトチームが立ち上がり、3つの部会が設けられている①九州ブランド部会、②行政運営とまちづくり部会、③南海トラフ・大地震災害対応部会。私は南海トラフ・大地震災害対応部会に籍を置いて、今後議論を深めていく。県内の自治体は災害時応援協定を締結。
- Q** 狭間中学校体育館の大規模改修について具体的な内容を伺いたい。
- A** まず外壁とサッシや扉などの建具の改修、照明のLED化、多目的トイレの新設とトイレ洋式化、エアコンの設置。工事は夏休みからで2月中旬の完成を目指している。
- Q** 冷水器の設置はできないか。(3回目の質問)
- A** 生徒の熱中症対策の有効な取組の一つ、冷水器の設置は引き続き検討していきたい。



「庄内地域の幼稚園、小中学校の規模及び配置の適正化の進捗状況は」 他

佐藤 郁夫 議員

Q 庄内地域の幼稚園、小中学校の規模及び配置の適正化の進捗状況は。

A 少子化、人口減少に伴い庄内地域では小中学校の児童生徒数の減少のペースが速く、その状況は認識している。適正規模適正配置に関し、基本的な考え方をまとめ、先生や保護者等へ説明し意見交換を図りたい。

Q 野生鳥獣による農林水産物被害軽減対策について、猿対策はどうなっているのか。

A 目撃情報があった場合は、学校や保育園及び警察に周知を行い、パトロールや注意喚起と対応マニュアルの周知を行っている。農作物被害が確認された地区は、捕獲従事者による箱わなや銃器で駆除を行っている。

Q 連携型中高一貫教育の由布高校について、中高連携のメリットを生かし切れているのか。

A 市内中学3年生に意識調査をして、由布高校に進学を考えている生徒のうち、自分の学力に合っているから、やりたい部活動がある等多くの理由がありました。これらの声を参考に、発信の工夫に向けた協議を重ねていく。



「市が貸与する土地は地価変動時に契約変更できるのか」 他

高田 龍也 議員

Q 市が貸与する土地は地価変動時に契約変更できるのか。

A 契約条文により、疑義が生じた際に協議が可能で地価変動にも対応可。

Q 上原サッカー場管理棟を企業が管理することによる市民利用への影響は。

A ジェイリースが経費負担・管理人配置。市民団体の利用は従来通り。広報は検討中。管理人は棟専属で、グラウンドは市が管理。

Q 新規就農支援にふるさと納税型クラウドファンディング活用は可能か、水田構造改革による米作付面積の目安は。

A 制度研究とニーズ調査を進める。令和7年産は1,176haで、活用可能面積に対し43.5%削減。対策強化へ。

A 制度は可能だが、継続性や審査が課題。

価格高騰を受け、水田再生や輸出促進など行政支援をお願いします。

Q 外国籍住民への定住促進宅地譲渡に懸念。GATS協定見直しの必要性を提言し、地域説明の徹底を求めます。

A 譲渡対象は市外定住希望者で国籍不問。法令・条例に基づき譲渡・相続は対応可能。譲渡者死亡時は条例により買戻しなども適用予定。



「宿泊税導入に向けた準備はどこまで進んでいる」 他

太田 洋一郎 議員

Q 新たな財源として導入を検討している宿泊税だが、進捗状況はどうか。また、大分県でも、導入に向け先行する別府市を参考に検討されているが、状況は把握しているか。

A 県が導入を表明し、大分県観光振興財源検討会議を設け、別府市と連携して検討を進めているが、由布市もこの検討会議に事務レベルで参加しており、情報把握に努めている。今後は動向を注視し遅れが生じないよう観光振興財源として活用方法を検討し、協議会を設け進めたい。

Q 以前、福岡県と福岡市が導入に向け協議が難航したと報道されたが、遅れることなく進めて欲しい。

A 県と別府市は令和8年度の6月議会に条例案を上程したいと考えている。後れを取らないよう、いつでもスタートが切れるようにしたい。

その他、ポイ捨て等防止条例施行後の課題について、太陽光発電2032問題について質問しました。

「由布市議会だより」の表紙写真を募集中!



年4回（5月・8月・11月・2月）市内の全世帯に届けられる「由布市議会だより」表紙をあなたの写真で飾ってみませんか？

募集する写真

「由布市」をテーマとした、人物、四季折々の風景、お祭り、地域行事などの写真。

応募方法

市議会ホームページ、議会だよりのページにある受付フォームに沿って必要事項を入力し、応募することができます。

応募フォーム、こっちらから領らには

応募締切日

次回、11月発行号の表紙写真応募の締切日は令和7年10月10日です。

※応募条件、応募上の注意点、選考方法等の詳細については「募集要領」をご覧ください。



(市議会HPへのリンク)

令和7年第2回定例会で審査した請願・陳情の結果

| 区分 | 件名 | 代表提出者 | 結果 |
|-----|---|----------------------------------|------|
| 請願2 | 義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願 | 大分県教職員組合由布支部 執行委員長 高尾 行一 | 採択 |
| 請願3 | 請願書（地方財政の充実・強化に関する意見書） | 大分県地方自治研究センター 理事長 中山 敬三 | 採択 |
| 請願4 | 2025年度大分県最低賃金の改正等に関する意見書の請願 | 連合大分 中部地域協議会 議長 利光 吉広 | 趣旨採択 |
| 陳情3 | 過疎地に合った運行方法と経費で、高齢者・生徒が必要とするときに必要な所を走るように見直してほしい(陳情) ～「ハブ&スポーク」と「ユータク」の提案～ | もっと便利なコミュニティバスを考える会 代表 千電 八重子 | 継続審査 |

賛否一覧表 [令和7年第2回定例会]

※○=賛成、●=反対、除=除斥 議長（甲斐裕一）は採決に加わらない。
※その他の上程された議案については、全員一致で認定・承認・同意・可決した。

| 議案名 | 議員名 | 議決結果 | 議員 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|---|------|----|----|---|------|------|-------|------|-------|------|-------|------|------|-------|-------|------|------|------|------|------|------|------|
| | | | 賛成 | 反対 | 除 | 甲斐裕一 | 佐藤孝昭 | 田中真理子 | 佐藤人己 | 淵野けさ子 | 佐藤郁夫 | 長谷川建策 | 鷲野弘一 | 加藤幸雄 | 太田洋一郎 | 平松恵美男 | 加藤裕三 | 田中廣幸 | 吉村益則 | 坂本光広 | 高田龍也 | 志賀輝和 | 首藤善友 |
| 発議2 | 由布市議会議長甲斐裕一氏の不信任決議案 ※議長が除斥のため、副議長（佐藤孝昭）により議事進行 | 原案否決 | 5 | 10 | 除 | - | ● | ○ | ● | ● | ● | ● | 欠 | ○ | ● | ● | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ● |
| 発議3 | 農業生産に係る消費税および食料品消費税撤廃を求める意見書 | 原案可決 | 12 | 5 | - | ○ | ● | ○ | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 発議5 | ゆたかな学びの実現と教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書 | 原案可決 | 15 | 2 | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

議員は公職選挙法に基づき以下の行為は禁止されております。

- 地域の行事やスポーツ大会への寄附や差し入れ
- お祭りへの寄附や差し入れ
- お中元やお歳暮
- 年賀状や暑中見舞いなど時候の挨拶
- 病気見舞い
- 葬式の花輪や供花
- 本人が出席しない場合の結婚祝や香典
- 初盆のお供えやご仏前

市民の皆様のご理解を
よろしくお願いいたします。

編集後記



今年の梅雨は、例年と違って雨が無くいつの間にか明けていた。ただ、この暑さは異常としか思えないくらい、夏はこれからなのに。

先日、漫画「私が見た未来」の内容がSNSなどで拡散されたことがきっかけは分かりませんが、あんなに賑わっていた湯布院に観光客がいなくなっていました。湯布院だけではないと思いますが、平成28年の大分地震の状況を思い出します。日常に戻ることを願っています。さて、由布市が誕生して20周年を迎えます。記念事業等も予定されていますが、由布市の未来に向け、更なる飛躍を目指し日々努力していきたい。

加藤 裕三

由布市議会だよりNo.78の掲載内容につきまして、2ページの表記に誤りがございました。正しくは、次のとおりです。お詫びして訂正いたします。【誤】ポイ捨て防止事業6,786万円→【正】ポイ捨て防止事業679万円

由布市議会ホームページ

由布市議会に関する情報を
随時お届けします！



議会広報
編集特別
委員会

委員長 志賀 輝和
副委員長 高田 龍也
委員 田中真理子 淵野けさ子 加藤 幸雄
太田洋一郎 加藤 裕三 田中 廣幸
坂本 光広

次の由布市議会は9月4日(木)に開会予定です(令和7年第3回定例会)